

平成25年度  
ハワイコナワエナ高校と久米島高校の交流事業  
〈派遣プログラム報告書〉



派遣期間：2013年8月21日～9月4日

派遣先：米国ハワイ州 コナ市(ハワイ島)、ホノルル市(オアフ島)

派遣生：保玖村南海（園芸1年）  
吉田 怜愛（普通科2年）  
新垣佳菜江（普通科2年）

引率者：知念朋美（英語教諭）

# 平成 25 年度 ハワイコナワエナ高校と久米島高校の交流事業

久米島高等学校 英語教諭 知念朋美

## 1. 経緯



2013 年度ハワイ島コナ地区にあるコナワエナ高校と久米島高校の交流事業が始まった。2011 年 9 月 11 日に海洋深層水取水施設を持つハワイ州コナ地区と久米島町が、海洋深層水の共同研究や人材交流などを目指し、姉妹都市提携を交わし、両地域において産業や教育、文化の各分野で共同プロジェクトを展開していくことを確認した経緯から、今年度、この交流事業が始まった。本交流事業

は夏休み期間に久米島高校の生徒 3 名をコナワエナ高校へ派遣し、英語の習得だけでなく、異国文化・風土・生活習慣など、直接体験をとおして国際的視野を広げる人材育成を目的としている。また、派遣費は久米島町の「前村幸秀人材育成基金」から助成金を受けており、初年度となる 2013 年度は、園芸科より保久村南海さん(1 年)、普通科より新垣佳菜江さん(2 年)、吉田怜愛さん(2 年)が校内選考を経て派遣された。

## 2. 事前学習

ハワイ派遣プログラムの事前学習として、英語力を高めるために本校 ALT との英会話講座を実施した他、海洋深層水研究所の OTEC やポイントピュール等の施設を見学し、海洋深層水に関する知識を深めた。また、ハワイで久米島を紹介するための準備として琉球民謡の三味線や歌の練習等にも励み、夏休み期間前半は忙しくも充実した日々を過ごしながら、派遣生は期待に胸を膨らませハワイ出発に備えた。

久米島を出発する 7 月 21 日(旧盆ウークイ)、台風の影響で強風の中、久米島空港では町長を始め、町役場の方々、保護者や学校関係者等、多くの島民が温かく見送りに駆けつけてくれた。皆様の期待を背負いハワイへと出発した。機内では、これから出逢うホストファミリーや、初めて訪れる異国の地に胸を躍らせ、派遣生達の目は宝石の様に輝やっていた。



〈海洋深層水研究所にて〉

### 3. ハワイ島コナ地区滞在



#### 〈コナワエナ高校での学校生活体験〉

ハワイ島コナ地区にあるコナワエナ高校での滞在中はホームステイで、派遣生はそれぞれのホストシスターの家庭に滞在しながら、生徒と一緒に学校生活と家庭生活を体験した。学校の授業形態や内容の違い、学校や生徒会が地域とより密に連携し合っていることや、人の目を気にすることなく生徒一人一人が自分の個性を大事にし、ながら他者の個性も尊重している姿など日本との違いを学んだ。また、日本語クラスでは久米島や久米島高校の紹介、空手や書道、三味線や琉球民謡を披露し、沖縄の文化を紹介する機会もあり、多くのコナワエナ高校生が沖縄の文化に興味を持ってくれた。コナワエナ中学校の音楽の授業ではハワイの楽器を使った音楽を披露してもらい、お互いの文化交流も深めている。

#### 〈校外見学〉

学校生活体験だけでなく、海洋深層水取水施設の NELHA や UCC コーヒー農園を訪れ見聞を深めた。派遣生達は NELHA の施設見学でアワビの養殖に興味・関心を抱き、施設の案内ガイドの方に派遣生達が積極的に質問する姿は特に印象的であった。



#### 〈コナ地区沖縄県人会との交流〉

8月24日(土)、週末にはコナ地区沖縄県人会の方々が主催する昼食会へ招待して頂き、ハワイと沖縄の食を楽しみながら、伝統舞踊であるフラダンスや琉球舞踊、ウクレレや三味線の音を響かせながら、お互いの文化交流に花が咲き、昼食会は夕方まで続いた。沖縄は、かつて琉球王朝時代に近隣諸国との交流を通じ、独自の豊かな文化を築きあげているが、ハワイもまたポリネシア地域において、それと似た歴史を持っている。そんな歴史も感じながら、派遣生と共に沖縄の豊かな文化価値を再認識し、その伝統継承の大切さを改めて感じることができ、県人会の皆様との交流は貴重な時間であったと確信する。沖縄をルーツに持つ県人会の皆様が、沖縄の文化に誇りを持ち、その伝統継承を異国の地で行っている姿に、祖国を思う県人会の方々の家族愛とその絆の強さを感じた。また、海洋深層水を活用した環境エネルギー研究を共通課題として持つ姉妹都市関係において、今年度から始まった高校生の国際交流は非常に価値のあるものであり、未来を築く人材を育成する重要な国際交流事業であることを県人会の皆様と確認することができた。



### 〈ケノイ郡長 表敬訪問〉

ケノイ郡長との表敬訪問では、久米島からの高校生派遣を大変喜んで頂き、本プログラムに携わり引率した私自身、身に余る光栄であった。当日は平日にも関わらず、コナ地区沖縄県人会の方々が交流事業の支援をしたいということで足を運んでくれた。多くの方々の期待が功を奏し、表敬訪問で「コナワエナ高校から久米島高校へ生徒を派遣したい。」とケノイ郡長からコナワエナ高校の校長 Mr.Suzuki Shawn へ伝えられた。本交流事業が相互に行われることになったのである。久米島高校生をホストファミリーとして受け入れてくれたコナワエナ高校の生徒 3 名を久米島高校へ派遣することがこの場で約束された。これは、ハワイ郡政府が姉妹都市である久米島町と教育分野において相互に協力しあいながら人材育成に力を入れることに対し強い意向を表明しているものと確信する。

コナ地区滞在で出会った多くの方々と派遣生との繋がりは、今はまだ、種から芽吹いたばかりだが、時を重ね、将来、久米島のフクギのようにしっかりと大地に深く根を張り、頑丈な幹を持つ大木となり、ハワイ島コナ地区と久米島町の貴重な柱となることを大きく期待する。

コナ地区滞在で出会った多くの方々と派遣生との繋がりは、今はまだ、種から芽吹いたばかりだが、時を重ね、将来、久米島のフクギのようにしっかりと大地に深く根を張り、頑丈な幹を持つ大木となり、ハワイ島コナ地区と久米島町の貴重な柱となることを大きく期待する。



#### 4. ホノルル研修



ハワイ島コナ地区でのホームステイプログラムを終え、9日目の早朝、飛行機に乗り、オアフ島ホノルル市に向け出発した。本プログラムのホノルル研修3日間の始まりである。ホノルル初日に訪れたパールハーバーでは十分な時間はなかったが第二次世界大戦について触れることができた。ハワイ県人会訪問の際は移民の父と呼ばれる「当山久三」を始めとする沖縄移民の歴史について学んだ。ポ

リネシア文化センターでは、ポリネシア地域の島々の踊りや音楽を堪能し、様々な地に豊かな文化があり、その一つ一つが素晴らしいもので、沖縄の文化もまた例外ではないことを派遣生は再認識し改めて沖縄の豊かな文化に誇りを持ったようである。2日目は第31回オキナワフェスティバルへ参加した。短期間ではあるが、ホノルル滞在中、沖縄移民の歴史、太平洋戦争、ポリネシア地域の民族・文化、沖縄ルーツに持つハワイ沖縄県人会の絆の強さや家族愛等、多くの事を学んでおり派遣生にとって有意義な時間であった。

#### 5. 報告会

帰国後は久米島高校のオープンスクールの際に中学3年生を対象に本交流事業の報告を行った。発表する姿も逞しくなり、久米島高校生としての誇りを感じながらハワイでの経験や学んだこと感じた事を伝えた。「この交流事業は久米島高校の生徒だから参加できるものなので、ぜひ久米島高校に進学し国際交流で自分自身を成長させてほしい。」という言葉には、派遣生が交流を通して、久米島高校生としての誇りを培ったようにも感じた。中学生も興味深く聞いており、来年度にむけての企画・運営に期待が膨らんだ。

最後に…

本交流事業を実施するにあたり、久米島の平良町長を始めとする教育委員会、地域の方々、学校関係者、ハワイ沖縄県人会、コナ沖縄県人会、久米島出身のハワイ在住の方々と、多くの方々のご尽力を頂き、充実した交流内容にすることができました。また、歴史の1ページとなる初年度に引率者として携わり、教師としても貴重な経験をさせて頂いたことに心より感謝申し上げます。様々な体験を通してスポンジのように多くの事を吸収し日々成長していく派遣生の姿を見ながら、体験を通して学ばせる事の大切さを痛感しました。派遣生がこの経験を通して、今後、久米島高校をより素晴らしい学校へと導いてくれることを確信し、将来は、美しい自然と豊かな文化を持つ久米島の魅力を世界へ発信させる貴重な人材となる事を期待致します。また、久米島の優秀な人材を育てる教育プログラムの一環として、久米島町民の温かい支援のもと、今後も継続されることを強く願います。

## ハワイコナワエナ高校と久米島高校との国際交流事業に参加して



久米島高等学校 園芸科1年  
保久村 南海

私たちは7月22日に日本を出国しホームステイ先のハワイ州コナ地区まで飛行機で約24時間をかけて移動しました。コナ空港に着いたらすぐに県人会の方々が出迎えてくれました。そして学校へ行き、それぞれホストファミリーと対面しました。私はとても楽し

みにしていたので、ホストファミリーとの出会いを嬉しく思いました。

私はこの交流を通して、まず1つ目に「人との出逢い」について改めて深く考えました。ホストファミリーだけでなく、地元の方々、高校の友達と沢山の人との出逢いがありました。ホームステイ期間はホストファミリーや友達と仲を深めたり、たくさんの体験や改めて自分の英語力の乏しさを実感させられました。それと同時にもっと英語の勉強に励み、将来、久米島とコナ地区の共同事業に関わり、久米島のために仕事がしたいと考え始めるようになりました。その前に、今年プログラムに参加しただけではなくて、来年のプログラムにもつなげられる様に、学校や久米島の事をもっとアピールできたらなと思っています。

また、ハワイの方々と出会い、この良い機会を大切に、今後も連絡を取り交流を続けたいと考えています。来年、このプログラムをさらに良いものにするためには、久米島をハワイの方々に発信することが大事だと感じました。

私は初めての海外経験だったこともあり、ハワイ滞在中は沢山の異文化に触れ様々な体験をすることができました。ハワイには素敵な文化があり、また久米島にも素晴らしい文化があります。お互いが手を取り合い、協力し合うことが大切であることを強く感じました。このプログラムの経験を生かして、今後、私が協力できることは積極的に関わっていきたいと思っています。このような素晴らしい経験をする機会を与えてくださったことに感謝し、将来につなげ、もっともっと久米島に貢献したいと強く思っています。

<ホストファミリーとの過ごした日々>

8月23日(金)

Host student の家でパーティーをしました。お母さん達が手作りの料理でおもてなししてくれました。夜には、山の方まで歩いていき、キャンプファイヤーをしました。それをきっかけにコナワエナ高校のお友達と仲良くなり、積極的に話かけることができるようになりました。私たちはお返しに三味線に合わせて日本語と英語で歌を歌いました。皆が喜んでくれるので歌っている自分まで嬉しい気持ちになりました。



8月24日(土)

ホストファミリー家族みんなで夕方、海へ行きました。初めての海外の海は日本と違い波がとても荒かったです。また、私たちが泳いでいる隣ではウミガメがいたのでとても驚きました。その後は、レストランで「ロコモコ」を食べることができました。様々な体験を通じて、美しくて豊かな自然環境や食文化など、沖縄とハワイの似ている点や違っている点などを学ぶ事が出来ました。

8月25日(日)

ホストファミリーと朝から隣の町のヒロまで車で移動して、世界遺産に登録されているキラウエア国立公園の活火山を見に行きました。休日だったこともあり、観光客も多かったのです。初めて活火山をみたのですが、実際に目の前で煙が出ているのを見ると恐怖感のようなものも感じました。しかし、あちらこちらで煙が出ているのをみると、改めて沖縄では体験できないことを経験したなと感じました。

8月26日(月)

この日は学校が終わり、放課後にホストシスターとその友達 5 人でホテルのフラダンスディナーショーを見に行きました。初めてみる生のフラダンスを見て、とても興奮したのと、日本とは違ったおもてなしも体験し楽しむことができました。ハネムーンで来ている方々を皆でお祝いをし、とてもアットホームな空間で温かい空気で皆が楽しめるディナーショーでした。また、ハワイの名物をアレンジした料理なども食べることができ、食べているときは、まるで自分自身がハワイアンになった気分でした。

## 8月27日(火) 施設見学

この日はケノイ郡長への表敬訪問、NELHA、UCC 直営農園の施設見学に行きました。最初の表敬訪問ではホストシスターも一緒に参加し、多くの話を聞くことができました。ケノイ郡長も久米島の平良町長のように気さくで優しい方でした。そして、コナワエナ高校でホストをしてくれた生徒を久米島に派遣するといわれた時はとても嬉しく、久米島では自分自身がおもてなしをしなければと感じました。NELHA では、海洋深層水について久米島と比較をしたりして、見学しながら海洋深層水に対する興味が深まりました。そして、海洋深層水を通して、久米島とコナ地区がもっと発展するように私たちもお手伝いできればと思いました。

## 8月28日(水) コナワエナ高校 校内見学

コナワエナ高校の隣になるコナワエナ中学校で日本語教室を訪れ久米島や久米島高校のPRをしました。英語での発表は緊張したのでもうまく伝えきれていない気がしますが精一杯発表することができました。授業中の態度を比較してみると、久米島の生徒達に比べコナワエナ高校の生徒達は皆、積極的に参加していました。この日、特に記憶に残っているのは



コナワエナ高校の校長先生と一緒にいったコナワエナ高校の校内見学です。私は園芸科ということもあり、コナワエナ高校の農場で栽培されている植物や、再利用されている園芸用品、飼育している動物をみながら、久米島高校でも取り入れたい点があり、とても参考になりました。

ハワイのコナ地区に滞在した期間はとても短い期間でしたが、日本ではできない体験をすることができただけでなく、改めて沖縄の良さを発見し、久米島を誇りに思えることができました。自分にとってはあらゆる事がよい経験で、その経験を通して視野を広げ、積極性を身に着けることができたと思います。今後はこの経験を生かして、もっともっと久米島に貢献したいと思いました。



## ハワイコナワエナ高校と久米島高校との国際交流事業に参加して

久米島高等学校 普通科2年

吉田 怜愛

ハワイに行ってさまざまな発見がありました。現地で生活している中で思ったのがハワイは沖縄と似ているということです。

まずは歴史。ハワイは昔1つの王国でした。その後アメリカの統括下においてハワイ独特の言語の使用が禁止されました。ここまでは沖縄と似ています。違うのはここからです。ハワイはその後しばらくしてハワイ語が廃れていっていることに危機感を感じ、ハワイ語を再興すべく学校教育に取り入れていったそうです。しかし、沖縄は戦後、復帰後何十年たっても沖縄方言の退廃になんの対策もしませんでした。その結果、今、しまくとうばを話せる人は数少なくなり、ハワイ語を話す人は増えていっています。

次に自然。似ているどころかそっくりです。写真撮って並べてみてもどっちだかわからないくらいです。久米島の写真を現地の人に見せたら、ハワイよりキレイなところだと驚くぐらいの自然を持っています。また有名なワイキキビーチも見てきましたが久米島のハテの浜もひけをとらない美しさです。砂の白さではむしろ優っているとも言えるでしょう。それなのにハワイは有名で久米島は無名です。これはPR不足であると考えます。また、島民がその美しさに気付いていないせいとも言えるでしょう。気候的にも立地的にもそっくりな久米島ですから人を惹きつけるには申し分ありません。では何が足りないのでしょうか。島民の意識だと私はハワイに行って感じました。観光地であるという自覚、ウェルカム精神です。ハワイ、特に観光地化されているオアフは都市です。ショッピングもでき、ところどころにちらほらみえる美しい自然でバカンス気分にもなれます。ですからここでは住人が親切だろうがそうでなかろうが、もちろん親切にこしたことはありませんが、観光客は自分たちだけで楽しめます。しかし地方に行くとそうは言ってられません。私が行ったコナ市も田舎の方でショッピングモールなどはありません。観光客は主に自然と文化、歴史を楽しみにきます。久米島も同様に楽しめるのは自然、文化、歴史です。これを無理に都市化しようとしてももともとある魅力が消えてしまうだけです。自然には手を加えずに広報活動に力を入れるべきだと考えます。そして先にも述べたように人々の意識。どこの地方にも人柄というものはあり、それがひとつの魅力になっています。ハワイの人は自由な雰囲気由来の人を魅了します。誰にでも挨拶をし、目が合ったときに微笑んでくれるそのフレンドリーさが、それを持ちえない日本人を惹きつけるのだと思います。久米島も同じように、そのおおらかで少しシャイな人柄はそのままに観光客も家族のように受け入れる島づくり人づくりをしていけばもっと魅力あふれる島になるのではないのでしょうか。

ハワイのコナワエナ高校との交流でも多くの学び、発見がありました。私は高校入試で久米高を志望する動機として「自由な校風」をあげましたが、コナワエナ高校の自由度はランクが違いました。制服ではなく私服なので、学校内の統一感は皆無です。また **Homeroom** がなく、大学のように自分の好きな教科を選択して履修できます。しかし、学校でおそろいの T シャツを作ったり、1 年生から 4 年生まで混ざって履修しているような授業もあり、高校生全体の一体感、団結力は高いように感じました。学校は 8:20~2:30 頃までと短く、午後はクラブや遊び、勉強など各自自由に時間を使い、クラブも 5:00 頃には終わるようになっていました。授業自体は通常 50 分で一日一回 75 分授業あり、美術や数学、理科の実験など時間を使う授業に便利だと感じました。私の英語力では授業の内容を理解することは数学以外ほとんどできず、専門用語以外の英語を聞きとるので精いっぱいでした。授業の形態は基本、日本と同じような先生の話聞く感じですが、生徒の発言はより活発で、質問も多くみられ活気のある授業でした。しかし、授業中に普通に飲み食いし、携帯で検索、メール、電話をすることも見られ、自由さの悪影響も感じました。久米高が大事にするメリハリの点では全く正反対の学校だと思います。見習うべき自由さもあり、生徒の自主性がその代表的な点です。リーダーシップという時間があり、生徒が主体となって近くのお店にスポンサー依頼をし、高校を盛り上げていくための計画をする、日本の生徒会のビッグ版です。私も中学校、高校と生徒会に入っていますが、このような広報を含めた地域と連携した自主的な活動はしたことがなく、例年行っているイベントの運営や雑用のみでした。久米高は島にひとつの高校ということで地域と連携し、また島民の愛着も深い学校です。今後、生徒会でも連携を取れるような活動をしてみたいと思います。

ホームステイでは **Maigret family** にお世話になりました。ハワイは日本人観光客が多いからか日本に興味のある人も多いように感じます。二年前のアメリカへの 1 ヶ月ホームステイより格段に成長した自分を感じることができました。まず、積極的に会話できるようになりました。二年前の私は完ぺきに話さないと、とガチガチになって自分で自分のチャンスを奪っていました。これこそ日本人が英語を話せない所以です。そもそも母語じゃないのだから、完璧はあり得ません。というかアメリカ人でも完璧な英語を話す人はそうはいません。私達も日本人だからといって完璧に話さないでしょう。英語も同様に文法がなくても通じるのです。コミュニケーションをとるときにはそういう風に軽く考えるべきです。学校のテストと会話は違います。自分からどんどん話しかけて、じゃんじゃん間違えれば日本で過ごす中で凝り固まった完璧主義は少しずつはがれていきます。私は今回二年前の反省を踏まえて、やりたいこと、ききたいことは物おじせずに取り組むようにしました。今この時期にハワイにいけるのは一回きり、しかもチャンスを与えられたのは三人だけ。与えられた機会を無駄にしないように一分一秒大切に、二週間を過ごしました。ハワイに行き、少しおおらかになったように感じます。完璧主義が抜けたからか、他人に対して角がとれました。また、「ありがとう」「ごめん」を多く言うようになったと思います。



す。例えば、食卓でドレッシングを取ってくれた時、落ちた紙を拾ってくれた時、「Thank you」と。例えば手が当たってしまった時、通路の邪魔をしてしまった時「Sorry」「Excuse me」と。そしたら相手も「It's OK」と返してくれます。日本人も学校や外でならしているかもしれません。しかし、彼らはそれを家庭の中でも自然に行っているのです。私は自分の生活を振り返って反省しました。そのようなちょっとしたことでも小さな言葉のやり取りが気持ちよく、ハワイではいつも笑顔で過ごすことができました。

私はハワイに三線を持っていきました。家、学校、県人会、フェスティバル…色々なところで披露しましたがみんな興味をもって聴いてくれ喜んでくれました。家では Father が一番私の歌を気に入り、ベランダで演奏しているといつも本を持って隣のハンモックに座り、30分でも1時間でも聴いてくれました。それがとてもうれしかったです。県人会やフェスティバルではもともとが沖縄の人なので一緒に踊ってくれたり囃子をいれてくれたりしてうれしかったです。世界中に散らばっていても沖縄の心を忘れない、沖縄人だけがもつ絆を感じ、鳥肌が立つくらい感動しました。世界中の人たちと故郷で、心で、音楽でつながっている気がしてうれしくなりました。私は全ての舞台で父がつくった「球美ぬ里にめんそうれ」を披露し、みんな気に入ってくれました。特に県人会の人々は今、三線を練習しているそうで楽譜を送ってほしいと言われ連絡先を交換したので、島に帰って来た今も三線を通したメールでの交流が続いています。

ホノルルの研修で行ったポリネシアン文化センターではハワイのような離島の民族の文化が紹介されていました。大学生が営んでいるというその施設は活気にあふれ、見る人を飽きさせない魅力でいっぱいでした。いわゆる体験型学習をたくさんすることができました。私は将来をまだ具体的に決めてないのですが、そこでピピピッと何かヒントのようなものが降りてきました。外国、特に離島を回って独特の文化を見て学んできたい、というものです。あいまいだった将来が少しずつ形になってきたように感じます。

ハワイに行き、自分の中でいつのまにか作られていた価値観というか自分の殻のようなもの、普段生活している行動範囲だけの小さな世界が破られたような気がします。自分の中の世界がまた一段と広がり、今まで知らなかった自分の一面も垣間見ることができました。このような機会を与えて下さった町と高校、サポートして下さいた両親や先生方、現地で出会ったたくさんの方々へ感謝して、この体験を島民全体でシェアしていきたいです。



## ハワイコナワエナ高校と久米島高校との国際交流事業に参加して

久米島高等学校 普通科2年  
新垣 佳菜江

私は、今年の夏大変すばらしい経験をすることができました。それは、交流プログラムに参加することができたからです。

この交流プログラムに応募した理由は、私は小学校3年生の頃から英語教室に通っていて、そこから英語、外国に興味を持ち始めるようになりました。最近では、自分の好きな英語を通して人の役に立ちたい、生まれ育った久米島の役に立ちたいと思う気持ちが強く、観光業が盛んなこの島で将来は通訳や海外に出て視野を広げて新たなものづくりに貢献していきたいと思ったからです。また、積極的なコミュニケーションや異文化を学ぶ、久米島を世界の人々に一人でも多く知ってもらいたいというのも応募した理由です。



事前学習については、みんな個々に予定が入っていたりして集まれる時間が限られている中でもハワイで発表するパワーポイント作成であったり、Carmen先生との英会話レッスンを一ヶ月間で5回も行うことが出来ました。また、全員が揃えなくても一人で学校へ来て資料づくりをしてみんなで協力して仕上げる事が出来ました。

いよいよハワイへ向けて出発の日を迎えたときは、私は今回のプログラムが初めての海外で正直不安も少しはありましたが、不安がるよりは人生の中のたった2週間と考えて少ない時間を思い切り楽しまなきゃな！と思うようにしました。いざハワイに着いてみると、



自分でもびっくりするほど外国に来た感じがしませんでした。なぜかというところ、現地の人が沖縄から移住してきた人達の二世、三世だったり顔も沖縄の人のような顔立ちで、私達を温かく歓迎してくれて、さらに、気候や地理的にも似ていたからです。

コナで学んだこととしては、ハワイに到着したその日の夕方にホストファミリーと対面して各自ステイ先へと移動しました。家に着いてから、ホストマザーが話しかけてくれました。

でも、雰囲気は伝わるのですが何を言っているか分からず、今まで一緒にいた頼れる仲間もいない状況で、私はただただうなずき笑ってごまかしてしまいました。そこでは、分からないものを分からないと言える勇気と、英語で上手く相手に伝えるにはどうしたらよいかを考える機会となりました。二日目、初めてのコナワエナ高校登校日。着くと学校にはホストシスターの友達が大勢いて、みんな私を外国人としてではなく現地の人のようにフレンドリーに接してくれ、うれしかったです。その日に学校へ行って感じたことは、太っている女の子も自分の好きなファッションを楽しんでいて、周りからどう思われるとかを良い意味で人の目を気にしないでしっかりと自分を持っていることです。それに比べて日本人は無理してダイエットをしたり、周りの目を気にしすぎていて上手く個性を表現出来ていないところが損をしている部分だと感じました。もっと自分に自信を持って何事にも取り組もうと思いました。また、学校やお店では現地の人が普段よく使う（日常的な）会話や単語を知ることが出来ました。これは、日本では学べない現地に行かないと知れなかったことで、これまで日本で学んでいた単語が会話に出ると、今の文はこのような内容の話をしているんだと理解できたので、これからもっと使える英単語を覚えてどんどん積極的に話しかけられるようにしたいです。

ホノルルでは、人とのふれあいが多かったです。まず沖縄フェスティバルには、地元の人、県人会の皆さん、野中さん、沖縄から来てる沖縄の方々。ホノルル初日の観光で行った施設の方々。Markさん。他にもたくさんの人達に出会うことが出来て、色んな考えや思いを聞くことが出来ました。

今回の交流プログラムは応募締め切りから約2ヶ月で現地へ行くと、他の交流プログラムと違って準備期間が少なかったにも関わらず、先生方や島の人、ハワイの人々など多くの人達がこの交流プログラムを成功させようという気持ちがあり、海洋深層水施設の見学やポイントピュールの工場見学といった久米島の社会見学も出来ました。また、久米島でしか経験できないFMくめじまでのラジオ出演も出来て事前学習も充実し、もっと久米島のことを知れた良い経験になりました。ハワイへ行ってからもみなさんの支えがあったからこそ2週間弱でこんなにも多くの経験をすることが出来ました。私自身、ハワイへ行って現地の人が自分をきちんと持っている姿をみて、以前より自分に自信が持てるようになりました。英語に関しては、自身の英語力の無さに気づきこれからは授業だけの英語学習ではなく、海外でも通用するような語彙量を保持して、使える英語を勉強していきたいです。そして最後に、この交流プログラムを通して現地での暮らしやポリネシアン文化センターへ行き太平洋に浮かぶ島々の文化・生活習慣などを肌で感じ、視野を広げ、将来の久米島の発展に携わりたいと強く思いました。交流プログラムで学びたかったコミュニケーションを積極的に



することが出来、ハワイの人々に久米島をアピールすることが出来たと思います。コナワエナ高校で行われている行事がとても楽しそうだったので、まずは学校がより楽しめるような行事などを作っていきたいです。この経験を生かして、大好きな久米島に少しでも恩返しができるようにしていきたいです。この交流プログラムが何十年も続くことを願っています。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。